



CHAPTER 4

Cisco Unity Connection 9.x サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰

この章の内容は、次のとおりです。

- 「[Connection 9.x から非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰について](#)」 (P.4-1)
- 「[Connection 9.x サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」 (P.4-2)
- 「[Connection 9.x クラスタ内のサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」 (P.4-3)
- 「[Cisco Voicemail Organization 内の Connection 9.x メンバサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」 (P.4-4)
- 「[Cisco Voicemail Organization 内の Connection 9.x サイト ゲートウェイサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」 (P.4-5)

Connection 9.x から非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰について

- 「[Connection 9.0 から Connection 8.6 への復帰](#)」 (P.4-1)
- 「[Connection 9.0 から Connection 8.5 以前のバージョンへの復帰](#)」 (P.4-2)

アップグレード後も、非アクティブなパーティションのソフトウェア バージョンに切り替えることにより、アップグレード前に実行していたソフトウェア バージョンに戻すことができます。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻すと、その後は最新バージョンに切り替えることができなくなります。最新バージョンにするには、このガイドの指示に従って、アップグレードを再インストールする必要があります。

Connection 9.0 から Connection 8.6 への復帰

非アクティブなパーティションのバージョンに戻すことにより、データおよびメッセージに次のような影響があります。

- 新しいバージョンにアップグレードしてから追加されたユーザは、非アクティブなパーティションのバージョンに戻すと、存在なくなります。新しいユーザを再度追加する必要があります。

- メッセージはすべて保持されます。ただし、アップグレード後に追加されたユーザは存在しなくなるため、それらのユーザのメッセージは身元不明になります。身元不明メッセージは、配信不能メッセージフォルダに移動されます。
- アップグレード後に、メールボックスをあるメールボックス ストアから別のメールボックス ストアに移動していた場合、アップグレード前のメールボックス ストアに戻されます。
- アップグレード後にメールボックス ストアを作成している場合でも、その新しいメールボックス ストアが削除されます。
- 配信予定フォルダは、ユーザがメッセージに将来配信する予定であることをマーク付けした際に、初めて作成されます。配信予定をサポートするバージョンに戻したがそのユーザの配信予定 (future delivery) フォルダが未作成の場合、新しいバージョンの配信予定 (future delivery folder) フォルダのメッセージは配信できないメッセージ (undeliverable messages) フォルダに移動されます。

Connection 9.0 から Connection 8.5 以前のバージョンへの復帰

非アクティブなパーティションのバージョンに戻すことにより、データおよびメッセージに次のような影響があります。

- Connection 8.6 に戻した後では、音声メッセージは失われます。
- Connection 8.6 に戻した後では、管理者設定は失われます。



(注)

MCS 7825-H3 サーバまたはそれと同等である HP DL320G5 で Connection をアップグレードする場合は、Connection 9.0 にアップグレードした後で、復帰機能を使用して前のバージョンに戻すことはできません。前のバージョンに戻すには、そのバージョンをインストールし、DRS バックアップからデータを復元する必要があります。

Connection 9.x サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰

この項の手順は、クラスタ内にはないサーバで、Connection サイトのメンバー サーバではなく、Connection サイト間、または Connection サイトと Cisco Unity サイト間のゲートウェイ サーバではないサーバのみに使用できます。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンに戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

Connection 9.x サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。
[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。

システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。

- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
- Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
 - [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - アクティブなパーティションで、適切な製品バージョンが実行されていることを確認します。
 - アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。
 - Cisco Unity Connection Administration にログインします。
 - 設定データが存在することを確認します。

Connection 9.x クラスタ内のサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰

Connection クラスタ内のサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには、以下の 3 つの手順を実行します。

この項の手順は、Connection サイトのメンバー サーバではなく、Connection サイト間、または Connection サイトと Cisco Unity サイト間のゲートウェイ サーバではないサーバのみに使用できます。



注意

クラスタを正常に機能させるには、両方のサーバを復帰させ、データベース レプリケーションをリセットする必要があります。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンに戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。また、パブリッシュ サーバの復帰中にサブスクライバ サーバに録音されていた音声メッセージは失われます。

Connection クラスタ内のパブリッシュ サーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。
[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。
システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。
- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
- Cisco Unified Operating System Administration にログインします。

- b. [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- c. アクティブなパーティションで、適切な製品バージョンが実行されていることを確認します。
- d. アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。
- e. Cisco Unity Connection Administration にログインします。
- f. 設定データが存在することを確認します。

Connection 9.x クラスタ内のサブスライバサーバを非アクティブなパーティションのバージョンに戻すには

- ステップ 1** Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** [バージョンの切り替え (Switch Versions)] ボタンを選択します。
システムの再起動について確認すると、システムが再起動されます。処理が完了するまでに、最大で 15 分かかります。
- ステップ 4** バージョンの切り替えが正常に完了したことを確認します。
 - a. サブスライバサーバで Cisco Unified Operating System Administration にログインします。
 - b. [設定 (Settings)] メニューから、[バージョン (Version)] を選択します。[バージョン設定 (Version Settings)] ウィンドウが表示されます。
 - c. アクティブなパーティションで、適切なバージョンが実行されていることを確認します。
 - d. アクティブにしたサービスがすべて動作していることを確認します。

Cisco Voicemail Organization 内の Connection 9.x メンバサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰

サイト間リンクが Cisco Unity Connection サイトと Cisco Unity サイトの間または 2 つの Connection サイト間に設定されている場合は、サイト内の Connection メンバサーバまたはクラスタを非アクティブなパーティションのバージョンの Connection に戻すために、次のタスクを実行します。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンを戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

1. このサーバを、アクティブパーティション上のバージョンにアップグレードする前に Connection サイトに追加した場合、タスク 2. に進んでください。メンバーサーバのバージョンを戻す前に、このメンバーサーバを削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてから Connection サイトに追加した場合は、サイトからこのメンバー サーバを削除してください。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「**Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 9.x**」の章の「**Removing a Location From a Cisco Unity Connection Site**」を参照してください。

2. クラスタが構成されていない場合は、サーバのバージョンを戻します。「**Connection 9.x サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰**」(P.4-2) を参照してください。

クラスタが構成されている場合は、両方のサーバのバージョンを戻して、データベース レプリケーションをリセットします。「**Connection 9.x クラスタ内のサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰**」(P.4-3) を参照してください。

3. タスク 1. で Connection サイトからサーバを削除した場合で、戻したバージョンがネットワークをサポートし、そのサーバを Cisco Voicemail Organization に追加したい場合は、ネットワークを再度セットアップしてください。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「**Setting Up Networking Between Cisco Unity Connection 9.x Servers**」の章を参照してください。

Cisco Voicemail Organization 内の Connection 9.x サイト ゲートウェイ サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰

サイト間リンクが Cisco Unity Connection サイトと Cisco Unity サイト間または 2 つの Connection サイト間に設定されている場合は、Connection サイト ゲートウェイ サーバまたはクラスタを非アクティブなパーティションのバージョンの Connection に戻すために、次のタスクを実行します。



注意

非アクティブなパーティションのバージョンに戻す作業は、必要な場合を除き、通常の業務時間内には行わないでください。バージョンを戻すと Connection サーバが再起動し、再起動が完了するまでの約 15 分間、Connection は動作しません。

1. このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードする前にサイト間リンクを設定した場合、タスク 4. に進んでください。バージョンを戻す前に、ゲートウェイ サーバを Connection サイトから削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてからサイト間リンクを設定した場合で、Connection サイトのゲートウェイが他の Connection サイトにリンクしている場合は、2 つの Connection サイトの間のサイト間リンクを削除します。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「**Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 9.x**」の章の「**Removing an Intersite Link Between Two Cisco Unity Connection Sites**」を参照してください。

このサーバを、アクティブ パーティション上のバージョンにアップグレードしてからサイト間リンクを設定した場合で、Connection サイトのゲートウェイが Cisco Unity サイトにリンクしている場合は、Connection サイトと Cisco Unity サイトの間のサイト間リンクを削除します。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシャ サーバ上で実行します。詳細については、

『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』

(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Removing an Intersite Link Between a Cisco Unity Connection Site and a Cisco Unity Site](#)」を参照してください。

2. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合は、Connection の管理の [ツール (Tools)] > [タスク管理 (Task Management)] ページで、[削除済みリモート サイトに関連付けられているオブジェクトの削除 (Remove Objects Associated With Deleted Remote Sites)] タスクが数分以内に実行されるようにスケジュールを変更します (デフォルトでは、このタスクは毎日午後 10 時に実行されます)。
3. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合は、2 箇所の進行状況を確認します。
 - [削除済みリモート サイトに関連付けられているオブジェクトの削除 (Remove Objects Associated With Deleted Remote Sites)] タスクの [タスク定義の基本設定 (Task Definition Basics)] ページ。エラーが発生した場合、ここに表示されます。
 - [サイト間リンク (Intersite Links)] ページ (Connection の管理の [ネットワーク (Networking)] > [リンク (Links)] > [サイト間リンク (Intersite Links)])。このタスクが完了すると、このページからリンクが消去され、サーバはブリッジヘッドサーバではなくなります。



注意

タスクが完了するまでは、サーバの復帰を継続しないでください。

4. このサーバを、アクティブパーティション上のバージョンにアップグレードする前に Connection サイトに追加した場合、タスク 5. に進んでください。メンバーサーバのバージョンを戻す前に、このメンバーサーバを削除する必要はありません。

このサーバを、アクティブパーティション上のバージョンにアップグレードしてから Connection サイトに追加した場合は、サイトからこのメンバーサーバを削除してください。クラスタが構成されている場合は、このタスクをパブリッシュサーバ上で実行します。詳細については、『*Networking Guide for Cisco Unity Connection*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の「[Making Changes to the Networking Configuration in Cisco Unity Connection 9.x](#)」の章の「[Removing a Location From a Cisco Unity Connection Site](#)」を参照してください。
5. クラスタが構成されていない場合は、サーバのバージョンを戻します。「[Connection 9.x サーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」(P.4-2) を参照してください。

クラスタが構成されている場合は、両方のサーバのバージョンを戻して、データベースレプリケーションをリセットします。「[Connection 9.x クラスタ内のサーバの非アクティブなパーティションのバージョンへの復帰](#)」(P.4-3) を参照してください。
6. タスク 1. でサイト間リンクを削除した場合、またはタスク 4. で Connection サイトからサーバを削除した場合で、戻したバージョンがネットワークをサポートし、そのサーバを Cisco Voicemail Organization に追加したい場合は、ネットワークを再度セットアップしてください。『*Networking Guide for Cisco Unity Connection Release 9.x*』 (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/9x/networking/guide/9xcucnetx.html) の該当する章を参照してください。